

授業概要

英語圏のゴシック小説の傑作を「読み」分析し、その映画も併せて議論してゆく。視聴覚教材を活用し「読む」という行為を拡大し、分身というテーマの意味を考察する。また、時に映画化作品も使いながら、それらの文学が書かれた文化的背景に迫ると共に、文学を使った他者理解を目指す。

授業計画

第 1 回	文学とは何か — 小説の誕生
第 2 回	双子・分身・多重人格の文化史 — なぜ人間は分身を求めるのか
第 3 回	エドガー・アラン・ポー論—『推理作家ポー』における作家イメージ
第 4 回	ポーの「ウィリアム・ウィルソン」論—古典的分身物語
第 5 回	ポーの「モルグ街の殺人」論—猿の反逆・奴隷・分身
第 6 回	ポーの「群衆の人」—推理小説の誕生・
第 7 回	ハーマン・メルヴィル『白鯨』論—モビィ・ディックとエイハブ船長
第 8 回	オスカー・ワイルド『ドリアングレイの肖像』論 — 世紀末文化と分身論
第 9 回	R・L・スティーヴンソン『ジキル博士とハイド氏』論 — 無意識・フロイト・分身
第 10 回	推理小説の文化史（1）— ホームズ・シリーズにおけるモリアーティとホームズ
第 11 回	推理小説の文化史（2）— 『斑の紐』『四つの署名』
第 12 回	H・P・ラヴクラフト「アウトサイダー」論 — 自分とは何か
第 13 回	スティーヴン・キング『ダーク・ハーフ』論 — ベストセラー作家と分身
第 14 回	スティーヴン・キング『ミザリー』『シークレット・ウィンドウ』論 — 作家三部作
第 15 回	スティーヴン・キング『It』論 —トラウマとの対決
第 16 回	定期試験

到達目標

分身というテーマに従ってアメリカ文学を中心に英語圏の文学を読むことで、それらの作品が書かれた文化的背景に迫ると共に、中学校及び高等学校における外国語科の授業のための異文化理解への助けとする。

履修上の注意

マナーを尊重して楽しい授業にしてゆきたいので、積極的な参加を望みたい。大量の資料を配布するのでファイルを持参のこと。

予習・復習

配布した資料は事前に予習として必ず読み、授業後に再び読み直してほしい。

評価方法

学期末試験（50%）、提出物（レポート）およびコメントペーパー（40%）などの総合評価。

テキスト

- ・教科書名：『エドガー・アラン・ポーとテロリズム—恐怖の文学の系譜』
- ・著者名：西山智則
- ・出版社名：彩流社
- ・出版年（ISBN）：2017年(978-4-7791-7090-4)